

第6回 蓄電池産業戦略推進会議発表資料

蓄電池産業戦略の推進に向けた取組進捗

2026年 3月 5日

電池サプライチェーン協議会

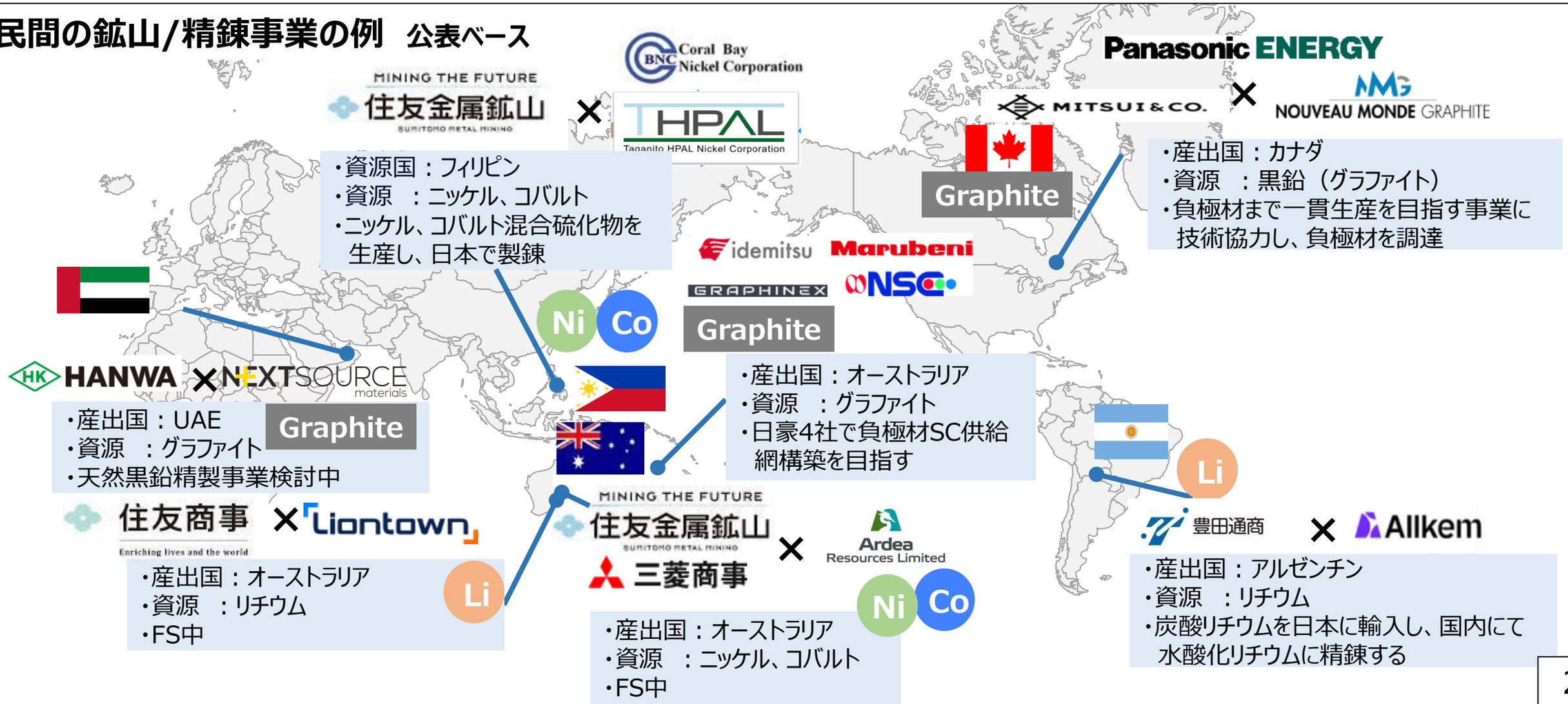


**Battery Association
for Supply Chain**

持続的かつ強靱な上流資源の確保

- 上流資源案件は着実に積み上がっているものの、特定国への依存脱却に向け、競争力ある資源の確保に向けた資源国との連携をスピーディーに進め、継続的に強化していく必要がある。

民間の鉱山/精錬事業の例 公表ベース



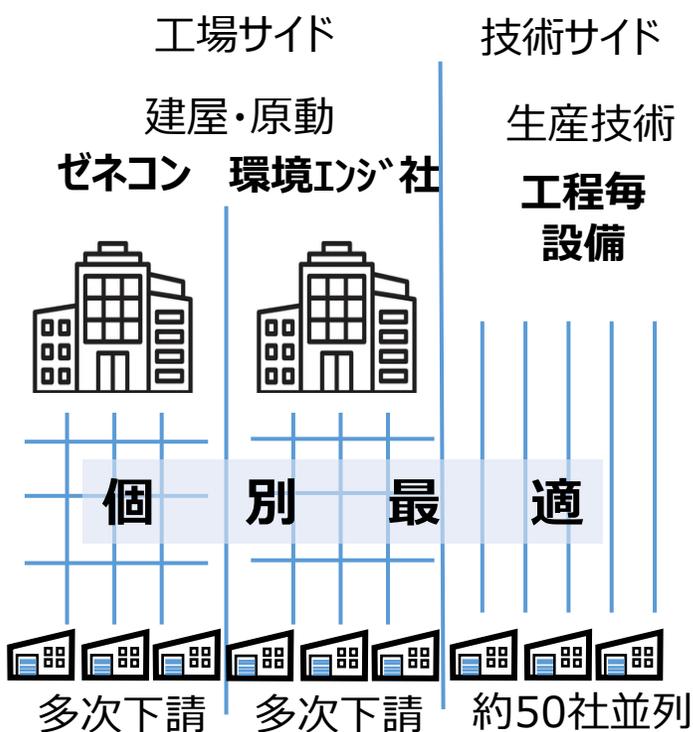
電池設備産業の構造変革による基盤強化

- 蓄電池産業戦略と連動し建屋・原動・設備の一貫製造プラットフォームを構築する共同事業「Swiftfab」が本年4月より始動。今後、2029年の量産ライン実装を目標に構造改革の実証及び技術検証を進める。

現状の課題

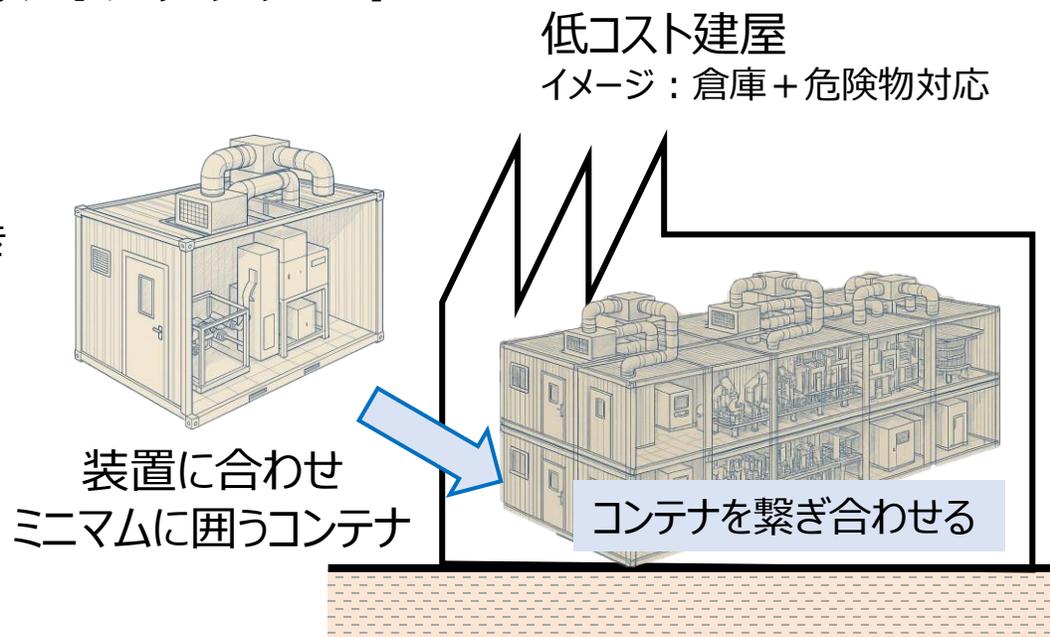
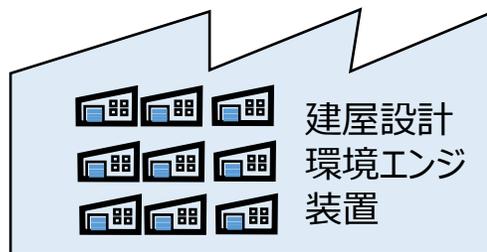
- ・工程毎の個別発注、中小企業が多い
- ・建屋・原動・設備間の調整工数が多い
- ・物価高騰、ゼネコンの逼迫

⇒投資増



建屋・原動・設備スルーで、ハードとソフト含めフルインテグレート

合併会社設立
(BASC加盟企業9社※)
※経済安全保障推進法に基づき供給確保計画が認定



目標	総投資	リードタイム	生産準備工数	
(現状比)	1/4	1/2	1/2	を目指す

日本発 電池パスポート活用による蓄電池の価値最大化

(R7年度 経済産業省 委託事業・補助事業)

- データ流通促進による電池価値の最大化には、更なるユースケースの拡大（仲間づくり）と「先行参入者の利益になる仕組み」、データ提供者が安心できる「データ利用者の健全性担保」が重要。

R7年度実証の概要

実績：①中古車・リユースのユースケースで電池パスポートを活用したビジネス実証（補助事業：BASC会員企業が推進）

②電池パスポートのシステム開発・共通ルール検討（委託事業：ABtC※が推進）

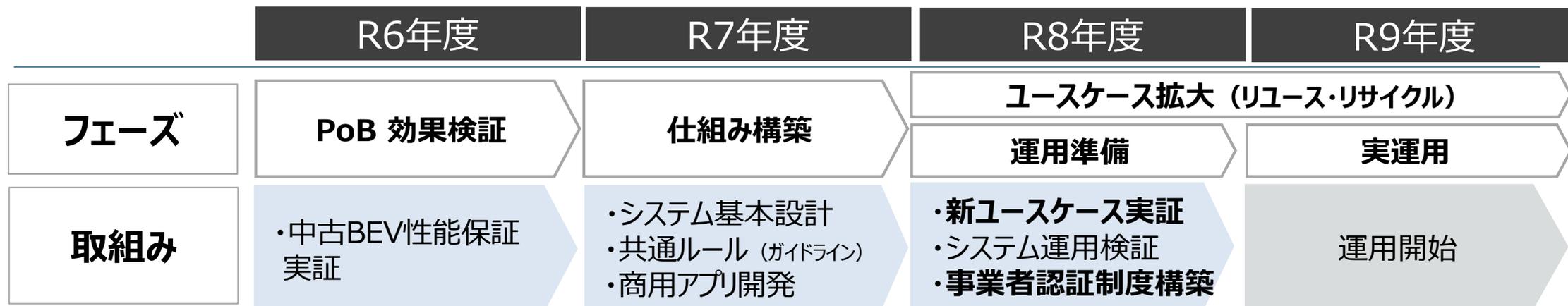
成果：システムの基本設計・プロト試作、ガイドライン作成、社会実装に向けた課題抽出を完了

課題：・中古BEV以外のユースケース拡大（リユース・リサイクル）

・データ提供者側の安心・安全の担保（事業者認証制度の構築）

電池パスポート実装スケジュール（案）

※ABtC：一般社団法人 自動車・蓄電池トレサビリティ推進センター



人材育成・確保の強化

- 2025年10月に「**バッテリー先進人材普及ネットワーク（BATON）**」を新規立ち上げ。本会合を2回実施し、運営会則の制定、座長（早稲田大学 所教授）選任等コンソーシアムの基礎固めの他、産官学で取り組むべき事項について企業若手インタビュー調査も踏まえて論点整理を実施。早稲田大学で開講した**産官学による電池人材育成の先進モデル**は、**2026年度も継続開催**。
- **現下の課題は、更なる電池人材の育成・確保が必要**なこと。協力を積極的な大学への支援拡大など、プログラムの普及促進を加速し、人材面でも産業競争力強化を目指す。

BATON（バトン）には「次世代につなぐ」という意味も込められています。

BATON発足発表会（2025年10月14日）



早稲田大学「電池工学概論

～日本の電池産業の未来を考える～」（2025年4～7月）



グローバルアライアンスとグローバルスタンダードの戦略的形成

- 資源の安定確保に向けてカナダ・豪州と協議。両国を中心とする資源国との関係強化を官民で目指し、グローバルアライアンスを通じた日本の電池産業の競争力強化を図る。

 天然資源省チャン上級次官補と対話（8月）
ジョリー産業大臣との面会（11月）



来日したカナダ高官に、特定国への重要鉱物の依存軽減と、競争力ある資源確保の重要性について再確認。

 豪州訪問（11月）



豪州戦略政策研究所（ASPI）主催「経済安保・産業協力シンポジウム」に登壇したほか、西豪州カルグーリーのニッケルサイトを視察。

 欧州業界団体（EBA※、RECHARGE）
との覚書締結（9月） ※Inno Energyが事務局を務める



武藤経済産業大臣（当時）、セジュール欧州委員会上級副委員長（産業戦略・繁栄担当）が同席。

 インド訪問（7月）



BASC加盟33社の訪問団がデリー訪問。官民合同会議、ビジネスマッチング、リサイクルプラント見学等を実施。